

国内利用枚数 No.1 の給報 AI-OCR、最新版を提供開始 ～新レイアウト対応・ユーザビリティ改善で自治体の業務効率化を加速～

佐川急便を中心とする SG ホールディングスグループにおいて IT 統括事業を担う SG システム株式会社(本社: 京都市南区、代表取締役社長: 丸山信二)は、AI を活用した OCR(Optical Character Recognition: 光学的文書認識)プラットフォームサービス「Biz-AI × OCR」^{※1}において、給与支払報告書(以下「給報」)を対象とした読み取りサービスのバージョンを刷新し、2025 年 12 月より提供を開始しました。なお、「Biz-AI × OCR」の給報向けサービスは、株式会社東京商エリサーチによる調査で、2024 年 1 月～12 月の給報(個人別明細書)の利用枚数において国内 No.1 を獲得^{※2}しています。

最新版では、新レイアウトへの対応、読み取り項目の拡大、仕分けエンジンの刷新など、精度・機能・ユーザビリティを大幅に改善し、自治体やビジネスプロセスアウトソーシングベンダー(以下「BPO 事業者」)のさらなる業務効率化を支援します。

■サービス提供の背景

給報は、住民税算出のため、事業者が従業員に支払った給与額を毎年 1 月末までに自治体へ報告する書類です。地方税ポータルシステム「eLTAX」により電子化が促進されているものの、2024 年度の給報における利用率は 69.7%^{※3} にとどまっています(給与所得者は約 6,077 万人^{※4})。

さらに、給報は自治体や提出する事業者によってフォーマットが異なる非定型帳票であり、「仕切り紙」「総括表」「個人別明細書」など複数帳票で構成されるため、AI-OCR 化が難しい領域です。このため、自治体や業務委託先の BPO 事業者では、特定期間に集中するデータ入力の負荷が課題となっています。

こうした課題を解決するため、SG システムはフューチャーアーキテクトと共同で、独自の AI-OCR エンジンとアルゴリズムを組み合わせた給報向けサービスを開発し、2021 年 1 月に提供を開始しました。以降、継続的なバージョンアップを重ね、近年は自治体での直接採用も広がり、2024 年度の利用実績は 320 万枚を突破しました。

■「Biz-AI × OCR」給報読み取りサービス 最新版の特長

1. 令和 8 年様式への対応と高精度認識

今期から適用される給報の新レイアウトに対応しました。通常の帳票画像だけでなく、縦横のノイズや印字のズレ、文字の薄さ、台紙貼付など、さまざまな状態を想定して 10 万パターンを超えるテストを実施しました。これにより、高い認識率を維持しています。

2. 読み取り項目の拡大

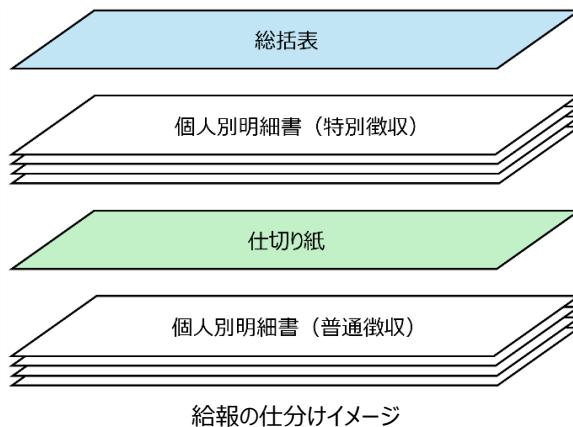
OCR 対象項目を大幅に拡充しました。個人別明細書は新レイアウトで追加された項目に加え、新たに「摘要欄」に対応し、合計 123 項目に拡大しました。総括表も合計 9 項目に対応し、給報全体で 132 項目の読み取り

を実現しています。

総括表（左）と個人別明細書（右）。緑の網掛けは、今回新たに OCR 対応した項目

3. 仕分けエンジンの刷新で「仕切り紙」にも対応

主要帳票の一括仕分けエンジンを刷新しました。これにより、従来対応していた個人別明細書と総括表に加え、「仕切り紙」の自動判定が可能になりました。さらに、個人別明細書では「特別徴収」「普通徴収」の仕分けにも対応し、全体の仕分け精度が大幅に向上しています。



4. 個人明細書と総括表の読み取り精度向上

個人別明細書は、発生頻度が高い項目や従来精度が低かった項目を中心にAI-OCRエンジンを改良し、OCRの精度を向上させました。

読み取りエラーを前年比で 20.4%削減^{※5} しました。平均読み取り精度^{※6} は 99.2%に向かっています。一方、昨年新たに対応した総括表は、非定型エンジンと AI-OCR エンジンを刷新しました。これにより、読み取りエラーを 51.3%削減^{※7} し、業務効率化に大きく寄与します。

5. ユーザビリティと動作環境の改善

画面を刷新し、より簡単な操作で読み取りが可能になりました。要望の多かった「結果確認画面」を標準搭載し、AI が読み取りに自信のない項目や、読み取りができないかった項目のみを確認できるため、確認作業の時間を大幅に削減します。さらに、動作環境を従来の Linux に加えて Windows にも対応し、インストール手順を簡素化して事前セットアップの効率化を実現しています。

AI が読み取りに自信のない項目や読み取りができないかった項目の表示方法を改善し、より確認しやすいエントリー画面に刷新

SG システムは今後も、「Biz-AI × OCR」の提供を通じて自治体や BPO 事業者の業務省力化を支援するとともに、SG ホールディングスグループで培ってきた IT・デジタル技術のさらなる高度化を図り、DX を進める多様な業界の業務効率化や生産性向上に貢献してまいります。

※1 「Biz-AI × OCR」は、フューチャーアーキテクトが提供する「Future OCR®」の SG システムにおけるサービス名称です。

「Future OCR®」はフューチャーアーキテクトの登録商標です。

※2 AI-OCR サービス「Biz-AI × OCR」、給与支払報告書(個人別明細書)の利用枚数で国内 No.1 を獲得

<https://www.sg-systems.co.jp/news/20250617/>

※3 「総務省 eLTAX を通じた電子申告率の推移」(PDF)

https://www.soumu.go.jp/main_content/001024512.pdf

※4 国税庁「令和 6 年分 民間給与実態統計調査」

<https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/minkan/gaiyou/2024.htm>

※5 OCR 読み取りエラーは、非定型エンジンの認識ミスによる不読と AI-OCR エンジンの誤読の双方を含む改善率を指します。

※6 平均読み取り精度は、前バージョンの OCR 対象項目を対象としています。

※7 非定型・AI-OCR 両エンジンの読み取りエラーは、※5 に加え、非定型エンジンの認識ミスによる不読を含めた改善率を指します。

※8 本リリースに使用した給与支払報告書(総括表、個人別明細書)の画像はすべて「第 17 号様式」(総務省)

(https://www.soumu.go.jp/main_content/001044216.pdf)を加工して作成しています。

出典: 総務省ホームページ(<https://www.soumu.go.jp>)

＜会社概要＞

■SG システム株式会社

SG システムは、佐川急便を中心とする SG ホールディングスグループの各システムの開発・設計、保守・運用を行うシステムインテグレーション事業を中心に、グループ外のお客さまに対しても、グループ内での物流改善ノウハウを基に物流 IT コンサルティングを行う物流 IT 事業、代金引換サービスなどの金融サービスを行う決済事業、文書のイメージ化やテキストデータ化、コールセンターやバックオフィス業務代行を行う BPO 事業を提供しています。

本社: 京都市南区上鳥羽角田町 25

代表者: 代表取締役社長 丸山信二

設立: 1983 年 2 月 17 日

URL: <https://www.sg-systems.co.jp>

■フューチャーアーキテクト株式会社

本社: 東京都品川区大崎 1-2-2

代表者: 代表取締役社長 谷口友彦

設立: 2016 年 4 月 1 日

事業内容: IT を武器とした課題解決型のコンサルティングサービスの提供

URL: <https://www.future.co.jp/architect/>

SG ホールディングスグループは、純粹持株会社 SG ホールディングス株式会社と、
その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

＜報道関係お問い合わせ先＞

SG システム株式会社

経営企画部 経営企画課 広報担当

TEL: 075-661-3435 E-mail: pr@sg-systems.co.jp